

項目	内容
名称	カロライナジャスミン、ゲルセミウム [英]Gelsemium、Yellow Jessamine、False Jasmine、Woodbine [学名]Gelsemium sempervirens (L.) Aiton、Gelsemium nitidum、Bignonia sempervirens
概要	カロライナジャスミンは、フジウツギ科 (マチン科との情報もある) の常緑蔓生灌木で、蔓は6 m程度に生長する。主に根茎およびが利用される。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全草：「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料)」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・インドールアルカロイド (ゲルセミン (gelsemine)、ゲルセミシン (gelsemicine)、センペルビリン (sempervirine) など) (33) (101)、イリドイド類 (33)、クマリン類 (33)、タンニン類 (33) などを含む。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・ステロイド類、アルカロイド類、クマリン類をNMRにて同定した報告がある (PMID:19016214)。 ・茎および葉中のオキシインドールアルカロイド類をNMRにて同定した報告がある (PMID:14519934)。

有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
ヒト生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
で脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
の免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
評価骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p> <p>(33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ</p> <p>(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ</p> <p>(101)厚生労働省HP 自然毒のリスクプロファイル：高等植物：カロライナジャスミン</p> <p>(PMID:19016214) Planta Med. 2008 Dec;74(15):1818-22.</p> <p>(PMID:14519934) Chem Pharm Bull (Tokyo). 2003 Oct;51(10):1211-4.</p> <p>(102) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition Thomson</p> <p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)</p>